

# 週刊 学びのコミュニティー

第8号

平成21年4月8日発行



～ご入学、ご進学 おめでとうございます～

\*\*\*\*\*

学習支援室をご利用ください!

4号館1階にOPENしました**学生支援室**(旧 学生相談室)は、常時教員が在室しているオープンスペースです。こちらでは、履修登録を初めとする、学習に関する相談を受け付けております。“どこに相談したらいいんだろう?”…迷われている学生さん、どうぞこちらをお訪ねください。

また、こちらの部屋にはたくさんの親書を取り揃えております。教養を磨くため、趣味を深めるため、レポートなどの参考資料にも…

どうぞお気軽に立ち寄って、お気に入りの1冊を見つけてみてはいかがでしょうか?学生さんだけでなく、社会人の方、大学関係者にもお貸ししております。室内で読んで頂くスペースもございますので、一度覗きにいらしてください。

～手作り本棚、製作中。出来上がりましたら、ご紹介いたします。お楽しみに★～

## 社会人のこえ

Vol.1

今回は、共創型科目に参加されている地域社会人、**宮田健**さんのお話を、少しご紹介いたします。宮田さんは、学生時代に東洋医学を学び、医学療法にずっと従事されてきた方(鍼灸師としてご活躍)で、引退後の現在は積極的に様々なところに出掛けられて学んでいらっしゃいます。

### 宮田さんに聞きました!

Q. 学生さんと一緒に学ぶ良さは?

新しい世代社会に見合った物の見方・捉え方を身に付けることができ、新鮮。

Q. 学生さんと学ぶ時に気を付けているのは?



既存意識を捨てて、共に学ぶ姿勢でいること。

オーバートーキングにならないよう、意見を引き出す配慮をすること。

Q. 学生さんに望むことは？

遠慮せずに、社会人に対して求めていることを話して欲しい。例え、批判的なことであっても、ざっくばらんに語ってもらうことで、お互いの関係が円滑になり、互いに学ぶ意味も生きてくる。

Q. 2月の市民フォーラムに参加されて、学んだことは？

それぞれ（学生・社会人・教員）の学びの必要性を感じた。また、学びにも共生があることに気がついた。社会を共に生きる、そして、学びも共にして、そこでなお、共生と言うものが深められる社会が出来ていくのではないかと。

Q. 学生 - 社会人 - 教員による“学びのコミュニティ”で話し合ってみたいことは？

経済の発展を最重要事項に挙げて取り組んできた結果、人々の心は貧しくなり、病んだ社会になってしまった。そんな社会から抜け出して、希望の持てる社会を作るためにはどうしたらいいのか？これからの日本は…このことについて鋭く深く議論してみたい。



そして最後に、「学び合う時には、お互いに正直であること。考え抜いたことをしっかり伝えるように発表することの大切さ。上手な言葉、綺麗な言葉でなくても構わないので、相手の胸に響かせるように、伝えるような伝え方を。日々訓練です」と語ってくださった宮田さんからは、学びに対する真摯姿が伺えました。

教育の大切さ、生涯学ぶ意欲を持ち続けること、自分の言葉で、正直な意見を述べる重要さ…様々なことを教えて頂きました。

今後も社会人の方の声、また学生さんの声、そして教員の声…この紙面上でお伝えしていけたらと思っております。投稿もお待ちしております。お気軽にお寄せください。

**学生支援室** ★TEL 088-656-7205

★URL:<http://w3.ias.tokushima-u.ac.jp/sgp/>

### ～編集後記～

春休みを終え、学内は一気に賑やかになりました。学生さんの居るキャンパスは活気があり、華やいで見えます。また、新入生のみなさんの初々しい姿は、こちらを新鮮な気持ちにさせてくれます。

学生時代を終えてからかなり経った今、かつてを振り返ってみると、“学ぶ”ことについて積極的でなかった自分が居ます。もっともっと学

べたはず…学びに期待を寄せる学生さん、学ぶ意欲に燃える社会人の方に出会う度、そう思います。

自ら学び、学んで楽しい！嬉しい！そう思える学生生活になりますよう。私もまだまだこれから、みなさんに負けずに学んでいこうと思う春です。（境）

